

# 立命館経済學

第二十卷 第一号

昭和四十六年四月

---

## 内 容

### 論 說

(続) 戦時労働市場に関する研究 ……………三 好 正 巳 1  
——「農工調整」問題を中心として——

独占段階における独自の・資本制的

生産様式の形成(続) ……………坂 本 和 一 67  
——八幡製鉄所を事例とする具体的分析(二)

### 翻 訳

エス・エス・シューホフ「社会主義経済の目的関数の

問題によせて ——いくつかの歴史的的局面——」……………小 野 一 郎 139

立 命 館 大 学 経 済 学 会

論説

独占段階における独自の・資本制的

生産様式の形成……………坂本和一

——八幡製鉄所を事例とする具体的分析——

研究

関西地方在住の炭鉱離職者の就労と

生活状態に関する調査報告……………戸木田嘉久

川端久夫

故武藤守一教授を追悼して

追悼のことは……………末川博

遺稿……………武藤守一

武藤守一先生を偲んで……………関弥三郎、清水貞俊、山口真三

武藤君との同僚としての交わりにおける

その二齣、三齣……………梯明秀

略歴・著作目録

発行所 立命館大学経済学会

論説

相澤先生をお送りする言葉……………足立政男

マルクス経済学における数学利用……………建林正喜

河上肇と古典派経済学……………杉原四郎

アルチュセールのマルクス主義論……………重田晃一

München市財政の現況と問題点……………加藤睦夫

『帝国主義論』における段階規定……………島津秀典

研究

ウイリアム・ペティの経済理論……………稲村勲

資料

社会主義のもとでの

「使用価値と価値」(一)……………声田文夫

私の履歴書……………相澤秀一

相澤秀一教授略歴・主要著作目録

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会